

国会議事堂のセミ

7月14日（木）、6年生の東京見学に行ってきました。

連日暑い中、この日はやや曇っていて、少し過ごしやすい陽気でした。

例年12月ごろの寒い時期に行っている校外学習ですが、6年社会科学習内容配列の変更に伴い、6年生の前半に実施することにしました。現在6年生の社会科は、日本国憲法や政治について学ぶ学習を年度はじめに行ってから、歴史について学ぶという内容の配列になっています。

まず、国会見学です。赤いじゅうたんの敷かれた長い廊下を歩くと、大きなドアの部屋がたくさん並び、ニュースなどでよく目にする政党の名前の札が掲げられていました。議事堂の真ん中まできたとき、案内をしてくださった係の方の説明で、「中央塔の天井のさらに上に、ダンスホールがある」ということを初めて聞きました。ネット検索をすると出てくることだったので、帰ってから調べてみると、確かに中央に螺旋階段がついているダンスホールの映像が出てきました。

その後は、衆議院の本会議場や「記者階段」と呼ばれる階段を見学して回りました。国の法律や予算について審議される場所であり、細部にわたって装飾がほどこされた広大な議場を直に目にして、6年生は圧倒されている様子でした。

外に出て「都道府県の木」の散策路を歩くと、学校で聞き慣れたニイニイゼミの他に、ミンミンゼミ、クマゼミなどまだ今年学校で鳴く声を聞いていないゼミの大合唱が響いていました。6年生と「誰もゼミ採りに来ないから鳴き放題だね」「ここでは警備が厳重でゼミ採りなんかできないね」などと話しながら歩き、敷地の正面へと進みました。

議事堂の威容を背景に集合写真を撮り、国会を後にしました。

昼食後に、科学技術館を見学しました。6年生たちはマナーよく、ほどよくグループ行動しながら、見学や体験コーナーを楽しんでいました。

学校に帰り着くと、校庭で今年初めてアブラゼミの鳴く声が聞こえました。到着式で、国会議事堂が造られた時代背景などについても学んでほしいこと、選挙を通して国政に参加するようになるので、何を大事にしていくのかを考えてほしいことを話しました。

